

北区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称			実施主体			
ブックスタート事業「はじめての絵本」			北図書館・北保健センター・企画総務課			
事業目的	事業内容	活動指標	H27	H28	H29	
幼児と保護者に絵本の読み聞かせを紹介し、絵本を配布する。読み聞かせを通じて親子が心を通わせ親子の絆を深めるとともに、保護者に子育ての喜びを感じてもらう。	・北保健センターで行われる4か月児健診時(月2回実施)に北図書館で選定した絵本を配布する。 ・北保健センターで実施中の「エンジェル交流広場」で、ボランティアによる読み聞かせ講習会を実施する。	絵本の配布数	1,635冊	1,645冊	1,457冊	
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性			
○ 読み聞かせを通じて親子の絆を深めることにより、子育てしやすいまちづくりと地域間の絆づくりに繋がると考えるため、行政が実施すべき事業である。	○ 絵本の読み聞かせを、北図書館職員と市民ボランティアがともに行い、一体となって取り組み、区民と協働で事業の実施ができた。	○ 絵本の配布だけでなく、北図書館職員、市民ボランティアによる読み聞かせを実施したことにより、絵本を活かした子どもとのふれあい方、親子の時間の楽しみ方などを直接アドバイスすることができた。	○ 北保健センターで行われる4ヶ月健診時に絵本の配布を実施するため、改めて来所してもらうことなく、効率的に区内の全児に配布することができた。また、「エンジェル交流広場」で読み聞かせを行うことにより、絵本の読み聞かせの大切さについて啓発することができた。			
⑤自立発展性	総合評価					
△ 行政が絵本を購入し、区内の全児に配布することから、区民が自立して実施することは難しいと考える。 読み聞かせについては、ボランティアが主導となって自立発展できる可能性がある。	○ 本事業によって、子どもの心(情緒・想像力・創造力)を育てるとともに、親子の絆を深め、保護者に親子のふれあいの大切さを感じてもらえることに役立っていると考えられる。					
今後の方向性(課題、改善提案等)						
拡充 継続 見直し 廃止	親子の絆を深めることや絵本読み聞かせの参加者同士の交流など子育て支援の一翼を担っているため、事業を継続させていく必要がある。					